

科目名				授業の種類	授業担当者
保育内容指導法・環境				演習	栗原博士
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
2	1	30	15	前期	幼免:必修 保育士:選択必修
〔授業の目的・ねらい〕					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領、保育所保育指針に示された領域「環境」のねらい及び内容について理解を深め、乳幼児が身近な環境に親しみ、自然や季節感に触れ合うことで興味関心を持てるような保育の構想、指導方法を身に付ける。 					
〔授業全体の内容と概要〕					
<ul style="list-style-type: none"> ・領域「環境」について理解し、乳幼児の発達を促せるように、受講生自身が季節によって変化する自然に触れたり、ものに触れたり、街を歩いたりして、その経験を生かした保育の指導案を考える。さらに、子どもの特性を把握した保育室の環境設定を考える。 					
〔受講上の注意事項〕					
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に取り組むこと。 ・他の受講生と協力して調べたり、グループワークを行ったり、まとめたりする。 ・グループごとにPC (Word、Excel、PowerPointなど)を使い、意見をまとめたり、発表したりする。 					
〔使用テキスト〕			〔評価基準〕		
<ul style="list-style-type: none"> ・「領域 環境ワークブック 基礎理解と指導法ー」(萌文書林) ・「子どもの楽しむ はじめての栽培」(メイト) 			試験(20%)、授業に臨む姿勢や発表・グループワーク(80%)		
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕					
回	項目		授業内容		
1	オリエンテーション		授業の進め方、領域「環境」についてなど		
2	春の自然に親しむ		校外で自然との触れ合いや外遊び		
3	乳幼児の成長		子どもがどのように成長していくか		
4	情報機器との関わり		保育活動の中で、どのようにICTを活用していくか		
5	身近な生き物や自然との関わり①		生き物や自然について調べ、まとめる		
6	身近な生き物や自然との関わり②		グループ発表		
7	食物(植物)を育てる		食物(植物)を育てるための計画を考える		
8	園内外での遊びや活動		保育に使える活動やおもちゃなどを考える		
9	自分の地域を知る		学校がある地域について調べたり、街探索をする		
10	文化や伝統・行事などに親しむ①		地域の文化、行事について調べて、まとめる		
11	文化や伝統・行事などに親しむ②		グループ発表		
12	指導案の作成		指導案を書いてみよう		
13	子どもを取り巻く環境(家庭・社会)		現代の家庭や、子どもが育つ社会がどう状況なのか知る		
14	現代の教育・保育の考え方		現代社会における幼稚園・保育園の存在について学ぶ		
15	まとめと試験				
実務教員としての経歴					
実務経験と授業の関連					